

いい声 いい顔 いい心

主幹だより No. 6
文責：城

先輩に学ぶ

5月9日（月）の初任研で嶋田先生と中山先生は、中井先生の国語の授業に学びました。テンポの良さや、メリハリのある授業、児童の姿など、学ぶことが多かったようです。

「教材研究をしっかりして、授業に臨みたい」と嶋田先生・



6-2 中井先生の国語の授業（他の先生方にも見てもらいたかった）

中山先生の記録にありました。両先生の向上心が感じられました。

たくさん学びのある中井先生の授業の中で、わたしが一番「いいな」と感じたのは、中井先生自身が楽しそうに授業をされていることでした。やっぱり、授業者が楽しくないとダメですよね。それは子どもにも伝わります。「楽しく、分かる授業」を構築していきたいものです。

山鹿小学校には、多くの先生方がおられます。ということは、多くの指導技術を学ぶチャンスがあるということです。「〇月〇日〇時間目が空き時間なので、ちょっと先生の授業を参観させてもらっていいですか？」「先生の空いてらっしゃる△時間目に、自分の授業の導入部分を見ていただいて、アドバイスしてもらえますか？」など。授業力を高める努力をするといいなと思う私でした。

徹底

先日、校歌・朝の歌の後、5年生が表現の舞台に集合していました。歌の声が出ていない児童が多くいたため、全体指導が入ったからです。また、以前、授業の様子を見て回っているとき、2-2では先生の話をきいていない児童を本気で指導されていました。

どちらも、指導の理由を児童自身がつかむように話をされていました。

今年度「3C+徹底」が示されています。「できていなければやり直す」「できるように手立てを考えて実践する」ことで、児童の力を伸ばしていきましょう。

山鹿市教育会の半日研（6月・10月・1月）で授業をするようになった先生は、城までお知らせください。

～ティータイム～

「5月病」

今年のゴールデンウィークは、コロナに関する制限がなかったため、人手が多くいたようだ。いろんな場所で人があふれていた。道路も渋滞していた。「世の中のお父さん、お母さん、お疲れさまでした」と言いたい。そんなゴールデンウィークが終わってしまった。5月2日・6日の子どもたちの表情は冴えなかった。(そりやそうだよなー)

ゴールデンウィークが終わると、「次第に新しい環境に慣れ、初期の緊張状態が緩んでくると、いわゆる5月病の問題が出てき始める」とのことだった。「集中力が続かない」「倦怠感がある」「やる気が出ない」といった症状がそうだ。先日、テレビを見ていたら「このようなゴールデンウィークを過ごした人は、5月病に要注意」とあった。

- ・長時間睡眠をとった
- ・朝日を浴びなかった
- ・暴飲暴食をした

3点全て当てはまる自分がいた。そう言えば、倦怠感が・・・。いやいや、気のせいだ。ストレスを溜めこまないようにしながら、過ごしていく。

